

項目別評価

大項目1. 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上

評価：A

	小項目数	V	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	I
求められる医療の提供	5	0	2	3	0	0
信頼される温かな医療の実践	6	0	3	3	0	0
地域医療連携の強化及び地域への貢献	3	0	2	1	0	0
優れた医療人材の育成・確保と働き方改革	2	0	0	2	0	0
合 計	16	0	7	9	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

求められる医療の提供を実施し、**信頼される温かな医療の実践・地域医療連携の強化及び地域への貢献・優れた医療人材の育成・確保と働き方改革**に取り組み、年度計画を計画どおり実施していると評価できる。

＜総合医療センター＞

- ・単孔式を含む内視鏡手術支援ロボット3台体制を最大限活用し、低侵襲医療の推進に取り組んだ。
- ・採血採尿室の集約化に伴う運用変更で待ち時間短縮、マイナ保険証の顔認証付きカードリーダーの機能拡充による生活保護受給者のオンライン資格確認対応などに取り組んだ。
- ・これらの取組は特に評価でき、今後も質の高い総合的な医療の提供に努めてもらいたい。

＜十三市民病院＞

- ・緩和ケア病棟の開設や紹介受診重点医療機関の指定を受けるなど、地域に求められる急性期病院として一般医療の回復に取り組んだ。
- ・市内唯一の結核病床の運営を継続するなど、地域の医療ニーズに応えてきたことが高く評価できる。
- ・今後も地域の医療機関との連携強化を図りながら、地域ニーズに即した医療の提供に努めてもらいたい。

＜住之江診療所＞

- ・住吉市民病院廃止後の小児・周産期における一次医療の提供を継続して行ったことが特に評価できる。引き続き地域医療の確保に努めてもらいたい。

大項目2. 業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善

評価：A

	小項目数	V	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	I
自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立	1	0	0	1	0	0
経営基盤の強化	7	0	3	4	0	0
合 計	8	0	3	5	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立に努めるとともに、**経営基盤の強化**に取り組み年度計画を計画どおり実施していると評価できる。

- ・入院患者数・入院単価の上昇や補助金交付もあり医業収益が増収となった点は高く評価できる。
- ・一方で、給与費の増加や患者数増・物価上昇に伴う材料費・委託費等の増加により医業費用が増大したほか控除対象外消費税等の影響もあり、独立行政法人化後初めて損失を計上する結果となった。
- ・今後も厳しい経営環境が見込まれるため、引き続き効率的な運営を図るとともに、総合医療センターと十三市民病院の連携体制を確実に構築し、市民病院機構全体として経営基盤強化に向けて取り組まれない。

全体評価

「全体として、年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

大項目1	市民に提供するサービスその他の業務の質の向上	A 計画どおり
大項目2	業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善	A 計画どおり

（評価にあたっての意見、指摘等）

令和7事業年度における大阪市民病院機構の取り組みは、**全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗していると評価できる。**

しかしながら、経常収支について、独立行政法人化後、初めての損失を計上しており、今後もさらなる給与費の増加や物価上昇に伴う費用増も想定されるなど、厳しい経営環境が続くと見込まれるため、医療機能の維持・向上を図るとともに、より一層の効率的・効果的な病院運営とさらなる経営基盤の強化に努め、引き続き質の高い医療を提供し、市民の信頼に応えてもらいたい。